Creative Enzymes®

ルテオリン（成分）

Cat. No. EXTW-001

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ルテオリンはターミナリア・チェブラに見られます。最も一般的には葉に見られますが、皮、樹皮、クローバーの花、ブタクサの花粉にも見られます。また、サルビア・トメントーサからも分離されています。食事からの供給源には、セロリ、ピーマン、パセリ、タイム、タンポポ、シソ、カモミールティー、ニンジン、オリーブオイル、ペパーミント、ローズマリー、ネーブルオレンジ、オレガノが含まれます。アイファネス・アキュレータの種子にも見られます。
用途	ルテオリンは、ヒアルロン酸を修飾するさまざまなヒアルロニダーゼの活性阻害剤です。ヒアルロン酸は、軟骨や腱の強度と柔軟性を担うポリマーの一つであるヘテロ多糖です。 ルテオリンは、痙攣緩和効果を示します: ルテオリンは、モディファイドエアオーバーフローのモルモットモデルにおいて、アセチルコリンおよびヒスタミンによって引き起こされる平滑筋の収縮を有意に拮抗し、強力な抗ヒスタミン特性を示しました。ルテオリンは、抗リーシュマニア活性を示します。 ルテオリンは、マウスにおいて強力な抗疼痛作用（末梢神□に起因する痛みに□して）を示します。

製品情報

CAS登□番号	497-70-3
分子式	C15H10O6
分子量	286.24
純度	98.0% ルテオリン HPLC
機能	適□症: 抗リーシュマニア□
備考	消化器系の副作用、例えば、吐き気、嘔吐、胃の過剰分泌が発生する可能性があります。ルテオリンは、最近、子宮内膜癌細胞を用いたin vitro研究で副作用があることが発見されました。